

リーディングDXスクール事業【実践事例】

堺市立三宝小学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 どのように学ぶかは子どもたちに委ねる。自主的に学びを進める 1 年生活科授業

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

子どもが主語の授業づくり

友だちと



一つのタブレット画面 タブレット画面を見せ合う。
で考える。

学び方は自分で選べる

一人で



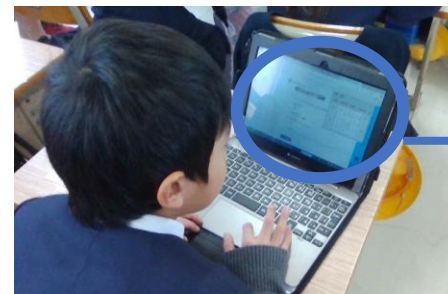
他者参照して考える。

先生と

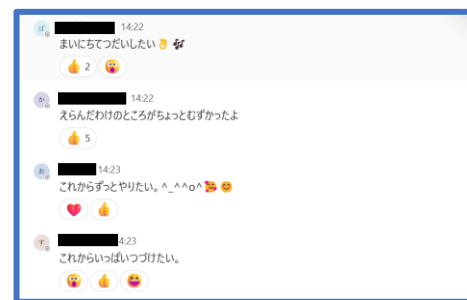


アドバイスをもらう。

Teamsでふり返りを共有



タイピングができない1年生でも
フリック入力を使えば簡単。



Teamsを使えば、いつでも気
づきを共有できる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

堺市立三宝小学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力チェックリストを活用し、指標をもって意識の高揚を図る。

②情報活用能力の育成

Teamsを使ってチェックリストを共有

スキル		モラル・態度	
1	ローマ字で1分間に40字程度のタイピング入力ができる。	1	パソコンをきちんと使うことができる。
2	パスワードを覚えて、パソコンにログインできる。	2	学校から借りているパソコンを、学習以外の目的で使わないようにしている。
3	---を読み取って、リンク先を確認することができる。	3	人の写真をとる時や人の作品を使う時は、その人の許可をとっている。
4	発表ノートで、写真の大きさを変えて、必要な部分だけをトリミングして入れることができる。	4	他の人の言葉や文章や写真などを使う時、自分のものではないことがわかるようにしている。
5	発表ノートに写真や動画を挿入できる。	5	情報が残ったり広がったりする危険性があることを考えて発信できる。
6	スクリーンショット（画面保存）をすることができる。	6	身の回りの生活の中でコンピューターが使われていることを知っている。
7	ファイルをOneDriveに保存することができる。	7	IDやパスワードを見えるところにはらない。
8	PowerPointで、画像の貼り付け、拡大縮小、トリミングをしながらスライドを作成できる。	8	個人情報やIDやパスワードが大切であることを知っており、他の人に教えないようにしている。

系統的・段階的に育成を図ることで、子どもたちの情報活用能力の格差を解消

ICT活用の基本は**タイピング**

タイピングゲームでスキルを身につける3年生



1分間でタイピング40字程度をめざす



インターネットで調べ学習ができるように

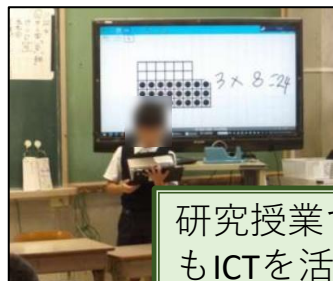
リーディングDXスクール事業【実践事例】

堺市立三宝小学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 研修テーマにICT活用を入れ、効果的な使い方を全教員で考える。

⑤ 指定校の努力目標として掲げた実施内容

本校研修 副主題 ～ICTを活用した深い学びを実現する指導方法の追求～



研究授業では、どの学年もICTを活用



指導主事やICTインフルエンサーを招聘し、ICTの効果的な使い方について討議を行う。



ICTに関する研修も充実



リモートで積極的に質問をする教員



「まずやってみる」を大切に